

## 北海道東部の鞘翅目 —コメツキムシ科—

飯 島 一 雄\*

### Notes on Some Elaterid-beetles from Eastern Hokkaido

Kazuo IJIMA

#### まえがき

コメツキムシ科の成虫は裏返ると胸部を屈曲させて跳躍する特技を持つことで一般に知られている。

日本には亜種も含めて600種以上が記録されている。これらの生態はさまざまで、幼虫が農作物を食害するものとしては、ジャガイモなどの根茎に被害を与えるもので、サビキコリ、エゾマルクビクシコメツキ、トビイロムナボツコメツキ、コガネコメツキ、クチブトコメツキなどが知られている。

成虫の生息環境的な見方として代表的なものをあげると、海浜性のものとしてキベリマルヒサゴコメツキ、アカアシコハナコメツキ、高山性としてアイヌチビヒサゴコメツキ、オオクロットヤヒラタコメツキ、アラコガネコメツキ、シロウズベニコメツキ、河畔砂礫原を好むものとしてエゾクロヒラタコメツキ、エゾコハナコメツキなどをあげることができる。

道東部のコメツキムシは多くは広葉樹林に適応している模様であるが、個々の生態についてはほとんど解明されていない。

筆者は1950年以降現在まで、仕事（林業）の合間に日にとまるコメツキムシ類について年間を通して蒐集を続けてきた。今回はこれらの資料のすべてと、道東部のこれまでに記録されたものをあわせて記録することにした（若干、道東部以外の資料も加えた）。

標本の同定や多くの助言などを戴いた中根

猛彦氏、大平仁夫氏に心から感謝申しあげる。写真を撮影下さった加藤春雄氏（ミズギワコメツキ類は大平仁夫氏から提供いただいた）に対しても感謝申しあげる。原稿の校閲は大平氏にお願いした。重ね重ねお礼申しあげる。

標本の提供者と採集者はデータのあとに（ ）で示し謝詞とした。採集者名の明記のないものはすべて筆者によるものである。前田一歩園財団からは1部阿寒国立公園内の資料をいただいた。記して感謝申しあげる。

#### 研究小史

道東部のコメツキムシ科については、現在までのところまとまった報告はなされていない。

学術調査の一環としては知床半島における比較的まとまった報告があるが、それらは中根（1963）が18種、西島（1985）が17種、澤村（1985）が5種、宮下（1993）が10種を記録している。

十勝支庁管内では佐々木（1983、1985、1987）が27種、芳賀（1993）5種を記録している（これらの数は道東部に関するものだけを示した）。釧路支庁管内では飯島（1988）が5種、同（1990）5種、同（1993）9種、平間、中谷（1993）が9種を記録している。

飯島一雄は年中林業に携わっている関係から、標茶町を中心とした北海道東部のコメツキムシ類に注目し蒐集を続け、1950年～1980年頃までは、同定の困難なものは中根猛彦氏

\*釧路市立博物館嘱託

に依頼し、1988年以降は主として大平仁夫氏に、所蔵標本の大部分を同定してもらい、識別容易な個体は自分自身で同定し現在なお蒐集に努めている。

## Elateridae コメツクムシ科

### Pyrophorinae サビキコリ亜科

#### 1. *Agrypnus binodulus binodulus*

(Motschulsky)

サビキコリ

所蔵標本：標茶町二ツ山：2 exs., 20. 1. 1951; 同：2 exs., 20. vi. & 1. viii. 1953; 4 exs., 18. vii. 1979 (飯島猛美)；同：1 ex., 10. vii. 1979; 同：2 exs., 21. vii. & 21. viii. 1980; 同：1 ex., 27. iv. 1988; 同：2 exs., 28. vi. & 6. vii. 1992; 標茶町常盤：4 exs., 24. vii. 1980; シラルト口湖畔：1 ex., 17. vii. 1993; 蹠路 (郷土館) 1 ex., 26. vii. 1989; 鶴居村宮島崎：1 ex., 8. vii. 1973; 弟子屈町仁伏：1 ex., 22. vii. 1979 (飯島猛美)；同：砂湯：1 ex., 25. vii. 1991; 阿寒町ボッケ：1 ex., 13. viii. 1981; 斜里町岩尾別：1 ex., 8. vi. 1976; 同：1 ex., 22. v. 1983

各地の農耕地や原野などに多く見出される。朽木内で越冬中の成虫を得たことがある。

屈斜路湖畔 (菅原、船橋、1955)、知床半島 (中根、1963)、釧路市春採湖 (飯島、1984、1988)、鶴居村 (飯島、1990)、阿寒町 (飯島、1993)、浜中町 (平間、中谷、1993)、釧路町 (青山、1979)、斜里町 (斜里高校、1981) などの記録がある。

#### 2. *Agrypnus cordicollis* (Candèze)

ムナビロサビキコリ

羅臼町からのみ知られている (中根、1963)。

#### 3. *Lacon parallelus* (Lewis)

コガタノサビキコリ

羅臼町からのみ知られている (西島、1985)。

#### 4. *Prodrasterius agnatus* (Candèze)

マダラチビコメツク

羅臼町からのみ知られている (西島、1985)。

### Hypnoidinae ヒサゴメツクムシ亜科

#### 5. *Ascoliocerus saxatilis expansicornis* Lewis

エゾクロヒラタコメツク (fig. 1)

久著呂川上流部：1 ex., 23. v. 1991; 屈斜路：1 ex., 24. v. 1988; 植別川：4 exs., 14. vii. & 8. vii. 1990; 合泊：2 exs., 12. viii. 1982; 岩尾別：4 exs., 8. vi. 1976; シュンクシタカラ川：1 ex., 25. vi. 1992

河畔の砂礫地に生息する。中札内村 (佐々木、1985)、羅臼町 (飯島ほか、1994) などの記録がある。

#### 6. *Hypolithus aeneonigra* (Miwa)

エゾヒサゴメツク

羅臼町からのみ知られている (西島、1985)。

#### 7. *Hypolithus littoralis convexus* (Miwa)

キベリマルヒサゴメツク

浦幌町厚内海岸：1 ex., 12. vii. 1981; 浜中町恵茶人海岸：8 exs., 1. vii. 1990

本種は海浜性の種として知られている。羅臼町の記録がある (西島ほか、1985)。

#### 8. *Hypnoidus rivalis ainu* Ôhira

エゾチビヒサゴメツク

羅臼町 (スキー場)：7 exs., 31. vii. 1980; 大雪山トムラウシ：4 exs., 30~24. vii. 1973 (大西純)

羅臼町 (澤村、1985)、斜里町達音別岳 (西島ほか、1985)、陸別町小利別 (佐々木、1987) などの記録がある。高山性の1種である。

### Denticollinae ベニコメツクムシ亜科

#### 9. *Limonicus ainu* (Ôhira)

アイスカネコメツク

弟子屈町仁伏：1 ♂, 19. vii. 1981 (飯島猛美)、大平所蔵

タイプの山地は定山溪。道東部では本個体以外は知られていない。

#### 10. *Hemicrepidius inonatus* (Lewis)

キバネツクヤハダコメツク

二ツ山：4 exs., 30. vii~20. viii. 1972; 同：3 exs., 20. vii~16. viii. 1975; 同：2 exs., 6. viii. & 13. viii. 1980; 同：1 ex., 22. vii. 1984; 同：1 ex., 22. viii. 1988; 同：1 ex., 16. viii. 1989; 同：1 ex., 28.

vii. 1990; 同: 2 exs., 20. viii & 1. ix. 1992; 新久著呂: 3 exs., 1. viii ~ 14. viii. 1992; 雷別86林班: 1 ex., 23. vii. 1986; 五十石林道: 1 ex., 4. ix. 1988; 塘路湖: 1 ex., 18. vii. 1989; 中オソベツ: 1 ex., 23. viii. 1992; 厚生: 1 ex., viii. 1993; シラルト川上流: 1 ex., 10. viii. 1993; 西別岳: 1 ex., 16. viii. 1985; 美幌峠: 1 ex., 24. viii. 1991 (平間裕介); アイカッパ岬: 1 ex., 29. vii. 1979; 春採湖畔: 1 ex., 1989 (釧路湖陵高校)

成虫は7~8月に出現し、各地に広く分布し、個体数も多い。知床半島(西島、1985)、春採湖畔、厚岸町愛冠岬(飯島、1984、1988)などの記録がある。

11. *Hemicrepidius subcyaneus* (Motschulsky)

ルリツヤハダコメツキ (Fig. 2)

二ツ山: 1 ex., 30. viii. 1953; 同: 1 ex., 30. vii. 1968; 同: 1 ex., 18. viii. 1971; 同: 1 ex., 12. viii. 1975; 同: 4 exs., 1. viii ~ 10. ix. 1979; 同: 1 ex., 23. x. 1983; 同: 2 exs., 8 ~ 14. viii. 1991; 五十石林道: 1 ex., 1. ix. 1988; 北片無去: 2 exs., 24. viii. 1974; 砂湯: 1 ex., 1. viii. 1974

8月から10月に出現する。低地から山地にかけて広く分布しているが多くはない。羅臼町(西島、1985)、浜中町霧多布(平間、中谷、1993)などの記録がある。

12. *Stenagostus umbratilis* (Lewis)

オオツヤハダコメツキ

二ツ山: 1 ex., 20. viii. 1963; 同: 1 ex., 30. viii. 1964; 同: 1 ex., 13. viii. 1980

8月に出現するが少ない。知床半島(西島、1985)から記録がある。

13. *Diacanthous antennatus* (Kishii)

ヒゲナガダンガラコメツキ

上士幌町三股から知られている(佐々木、1985)。

14. *Diacanthous ainu* (Miwa)

ウスダンガラコメツキ

中札内村、上士幌町三股から知られている(佐々木、1985)。

15. *Diacanthous undosus* (Lewis)

ダンガラコメツキ

羅臼町から知られている(中根、1963、西島、1985)。

16. *Scutellathous porrecticollis* (Lewis)

ムナグロチャイロツヤハダコメツキ

二ツ山: 1 ex., 30. viii. 1978; 同: 1 ex., 26. vii. 1979; 同: 1 ex., 31. vii. 1981; 雷別: 1 ex., 26. viii. 1973; 新久著路: 1 ex., 29. viii. 1993

7月から8月に出現するが少ない。

17. *Mucromorphus miwai yushiroi* W. Suzuki

アオツヤハダコメツキ

トムラウシ: 1 ex., 30 ~ 24. vii. 1973 (大西純)。羅臼町泊場。羅臼岳。硫黄山(澤村、1985、佐々木、1983)などの記録がある。ミドリツヤハダコメツキと呼ばれたことがある。湿原や低山地には生息しない。

18. *Denticollis varians shirozui* Ôhira

シロウズベニコメツキ

上士幌町幌加、三股から知られている(佐々木、1987)。高山性の種。

19. *Acteniceromorphus selectus* (Candèze)

エゾフトヒラタコメツキ (Fig. 3)

春採湖畔: 1 ex., 25. vi. 1988 (武山佳洋、中山); 摩周岳(第1展望): 2 exs., 13. vii. 1975; シュンクシタカラ川畔: 1 ex., 27. vi. 1991; ひょうたん沼: 1 ex., 25. v. 1991 (中谷正彦); 海別岳: 2 exs., 4. vi. 1978; 岩尾別: 8 exs., 8 ~ 7. vi. 1976; 同: 2 exs., 27. v. 1979; 同: 1 ex., 14. vi. 1981; 斜里岳: 1 ex., 25. vii. 1979; 植別川畔: 1 ex., 8. viii. 1990; 糠平: 2 exs., 5. vi. 1970

6月から8月に出現し、千島火山帯の山地に多いが、低丘陵地から海岸域では稀少。上士幌町幌加(佐々木、1985)、羅臼町(西島、1985)、阿寒町ボッケ(飯島、1993)、羅臼町植別川(飯島ほか、1994)などの記録がある。

20. *Selatossomus puncticollis* (Motschulsky)

コガネコメツキ (Fig. 4)

二ツ山: 1 ex., 20. vi. 1953; 同: 1 ex., 25. vi. 1966; 同: 1 ex., 10. vi. 1969; 同: 1 ex., 3. vii. 1971; 同: 1 ex., 10. v. 1972; 同: 1 ex., 24. vi.

1974; 同: 1 ex., 10. vi. 1975; 同: 1 ex., 20. vi. 1977; 同: 1 ex., 10. vii. 1979; 同: 1 ex., 8. vi. 1981; 同: 2 exs., 24~9. vi. 1988; 同: 2 exs., 6. vi. 1990; 同: 2 exs., 13. x & 1. xii. 1992; 雷別86林班: 1 ex., 8. xi. 1970; 同: 1 ex., 16. vi. 1973; 同95林班: 1 ex., 3. vii. 1975; 同: 93林班: 1 ex., 25. vii. 1986; 中オンベツ: 1 ex., 21. vi. 1992 (成田祥子); 茶安別: 1 exs., 6. vi. 1984 (松森辰雄); パイロットフォレスト10林班: 2 exs., 7. vi. 1985; 同3林班: 1 ex., 20. vi. 1986; 厚岸町太田: 1 ex., 22. x. 1975; トライベツ111林班: 1 ex., 1. vii. 1982

6月から7月に出現する。10月から12月に越冬中の個体を朽木の中から得た。5月の個体は越冬した個体と考える。各地に生息が多い。春採湖畔(飯島、1984、1988)、知床半島(久万田、1967)、上土幌町(芳賀、1993)、中札内村(佐々木、1985)、斜里町(斜里高校、1981)などの記録がある。

#### 21. *Selatosomus gloriosus* (Kishii)

アラコガネコメツキ

トムラウシ: 2 exs., 30~24. vii. 1973 (大西純)

知床半島羅白岳、三峰山(中根、1963、澤村1985)などから知られている。高山帯に生息する。

#### 22. *Selatosomus impressus* (Fabricius)

ミヤマコガネヒラタコメツキ (Fig. 5)

硫黄山: 1 ex., 15. vi. 1991; 同: 1 ex., 30. v. 1991; 雌阿寒岳: 1 ex., 29. vii. 1991 (平間)

海岸域や丘陵原野からは未発見。千島火山帯の山地に限られる模様。

#### 23. *Liotrichus affinis kurilensis* (Miwa)

オオクロツヤヒラタコメツキ

上土幌町三股、斜里町岩尾別など山地からのみ知られている(佐々木、1985)。

#### 24. *Catambus japonicus* (Fleutiaux)

クロツヤヒラタコメツキ

上土幌町からの記録がある(芳賀、1993)。

#### 25. *Catambus mundulus* (Lewis)

チャグロヒラタコメツキ

岩尾別: 1 ex., 29. v. 1994

#### 26. *Pseudanostirus dilatatus* (Miwa)

オオクロヒラタコメツキ

上土幌町三股からの記録がある(佐々木、1985)。

#### 27. *Anostirus daimio* (Lewis)

ダイミョウコメツキ (Fig. 6)

二ツ山: 1 ex., 12. vii. 1953; 同: 1 ex., 10. vii. 1981; 雷別96林班: 1 ex., 1. viii. 1973; 中茶安別25林班: 1 ex., 27. vii. 1987

7月から8月に出現するがが少ない。浜中町(平間、中谷、1993)、知床半島(中根、1963、久万田、1967)、上土幌町幌加(佐々木、1983)などの記録がある。

#### 28. *Anostirus castaneus japonicus* Kishii & Ôhira

ツマグロヒラタコメツキ

鶴居村(グリーンパーク): 1 ex., 1. vi. 1988。道東部ではこのほかの記録は見当らない。

#### 29. *Corymbitodes gratus* (Lewis)

ドウガネヒラタコメツキ

二ツ山: 1 ex., 24. v. 1972; 同: 1 ex., 26. v. 1973; 同: 1 ex., 15. vii. 1974; 同: 1 ex., 8. vi. 1977; 同: 1 ex., 20. v. 1980; 同: 1 ex., 1 ex., 24. vi. 1981; 同: 1 ex., 1. vii. 1982; 2 exs., 13~25. vi. 1991; 同: 4 exs., 23. vi~6. vii. 1992; 雷別: 1 ex., 30. v. 1990; 同: 1 ex., 6. vii. 1971; 同: 1 ex., 28. vi. 1972; 同: 87林班: 1 ex., 30. v. 1974; 同: 95林班: 1 ex., 27. vi. 1975; 同: 84林班: 1 ex., 2. vii. 1982; 同: 83林班: 1 ex., 9. vii. 1983; 同: 92林班: 1 ex., 12. vi. 1986; 中茶安別: 1 ex., 26. v. 1990; 塘路湖(リーチャシ): 1 ex., 30. v. 1985; 新久著呂: 1 ex., 3. vi. 1990; 中オンベツ: 1 ex., 6. vi. 1991; 同: 1 ex., 8. vii. 1993; 上久著呂: 1 ex., 23. v. 1991; シュンクシタカラ湖畔: 1 ex., 27. vi. 1991; 庶路: 1 ex., 21. vi. 1981; 岩尾別: 1 ex., 27. v. 1979; 同: 1 ex., 29. v. 1994

5月から7月に出現する。平地から山地にかけて広く分布している。羅白町(中根、

1963)、上土幌町(佐々木、1983、芳賀、1993)、阿寒町(飯島、1993)、浜中町(平間、中谷、1993)などの記録がある。

30. *Actenicerus pruinosus* (Motschulsky)

シモフリコメツキ

弟子屈川湯(菅原、船橋、1955)。道東部唯一の記録であるが、同定には疑問が残る。

**Elaterinae コメツキ亜科**

31. *Ampedus optabilis kusuii* Ôhira

エゾオオアカコメツキ

中オンベツ: 1 ♀, 27. vi. 1992

知床半島(西島、1985)、浜中町(平間、中谷、1993)などの記録がある。本亜種は北海道に分布する(大平、1989)。浜中町産は誤同定と考えられるので再検討の必要がある。

32. *Ampedus pachycollis* Ôhira

フトアカコメツキ

上土幌町幌加、三股(佐々木、1987)、浜中町霧多布湿原(平間、中谷、1993)などの記録がある。大平氏は北海道の分布を疑問視している(大平、1989)。浜中町産は誤同定と考える。

33. *Ampedus niponicus* (Lewis)

ツマグロコメツキ (Fig. 7)

二ツ山: 1 ex., 18. vi. 1953。道東部ではこれ以外の記録は見当たらない。

34. *Ampedus hypogastricus hypogastricus* (Candèze)

アカハラクメツキ

二ツ山: 1 ex., 26. v. 1956; 同: 1 ex., 23. iv. 1969; 同: 1 ex., 7. vi. 1987; 同: 1 ex., 21. vii. 1980

6月から7月に出現する。少ない。4月に採れた個体は成虫で越冬したものと考えられる。知床半島(西島、1985)からの記録がある。

35. *Ampedus emishi* Kishii

エミシアカコメツキ

上土幌町幌加、三股からの記録がある(佐々木、1985)。

36. *Ampedus takeuchii* Kishii

ウススジアカコメツキ

上土幌町三股からの記録がある(佐々木、1985)。

37. *Ampedus scutellaris prika* Kishii

キタセダカアカコメツキ

上土幌町幌加、三股からの記録がある(佐々木、1985)。

38. *Ampedus kurilensis* Dolin & Ôhira

チシマアカコメツキ

中札内村、上土幌町からの記録がある(佐々木、1985)。

39. *Ampedus ivanovi* (Jakobson)

クロコメツキ

羅白町(中根、1963)、知床半島(西島、1985)などの記録がある。

40. *Ampedus ainu ainu* (Lewis)

アイヌアカコメツキ (Fig. 8)

二ツ山: 1 ex., 10. vi. 1951; 同: 3 exs., 20. III & 24. vi. 1953; 同: 1 ex., 16. vi. 1963; 同: 3 exs., 23. iv. 1969; 同: 1 ex., 10. xii. 1970; 同: 3 exs., 16. iv & 20. vi. 1971; 同: 3 exs., 7. vii. 1975; 同: 1 ex., 16. vii. 1977; 同: 1 ex., 31. vii. 1981; 五十石: 1 ex., 27. v. 1973 (須摩靖彦); 雷別89林班: 1 ex., 20. vi. 1973; 同: 88林班: 1 ex., 12. vi. 1979; 同: 86林班: 1 ex., 25. vi. 1979; 塘路: 1 ex., 15. iv. 1973 (須摩靖彦); 塘路湖畔(リーチャシ): 1 ex., 3. vi. 1985; 上茶安別: 1 ex., 11. vi. 1993; 下舌辛: 2 exs., 5. vi. 1986; 仁々志別: 1 ex., 21. III. 1985; シェンクシタカラ川畔: 1 ex., 27. vi. 1991; 大黒島: 1 ex., 14. vi. 1980; アヤマガ原: 1 ex., 7. vi. 1988; 仁伏: 1 ex., 17. v. 1987; 斜里岳: 1 ex., 25. vii. 1979 (飯島猛美)

6月から7月に出現する。各地に普通。成虫で越冬する。朽木の中や、朽木に生えたコケの中などから得た。羅白町(中根、1963)、大黒島(飯島ほか、1981)、鶴居村(飯島、1990)、阿寒町(飯島、1993)、知床半島(久万田、1967)、中札内村、上土幌町(佐々木、1985)などの記録がある。

41. *Ampedus tokachii* Kishii

- トカチクロコメツキ  
岩尾別: 1 ex., 29. v. 1994
42. *Gamepenthis versipellis* (Lewis)  
メスアカキマダラコメツキ (Fig. 9)  
雷別82林班: 1 ex., 4. ix. 1976  
道東部では稀で、このほかの記録は見当らない。
43. *Procraterus helvolus* (Candèze)  
ヒメホソキコメツキ  
川湯: 1 ex., 5. viii. 1988  
道東部では稀で、このほかの記録は見当らない。
44. *Parasiletes musculus musculus* (Candèze)  
クチブトコメツキ  
二ツ山: 2 exs., 1. viii. 1953; 同: 2 exs., 30. vii. 20. viii. 1975; 同: 1 ex., 4. viii. 1977; 同: 1 ex., 2. viii. 1979; 同: 1 ex., 13. viii. 1980; 同: 1 ex., 2. II. 1981; 同: 1 ex., 22. vii. 1984; 同: 1 ex., 6. viii. 1986; 同: 1 ex., 12. vii. 1987; 同: 4 exs., 7. vii ~ 25. viii. 1988; 同: 3 exs., 7. vii ~ 23. viii. 1989; 同: 2 exs., 15. vii. 1990; 同: 2 exs., 13. viii. 1991; 同: 4 exs., 2. vii ~ 18. viii. 1992; 五十石林道: 1 ex., 21. viii. 1992; 標茶町常盤: 5 exs., 24. vii. 1980 (飯島猛美); 雷別85林班: 3 exs., 12. v. 1983 & 20. vii. 1987; 中オソベツ: 3 exs., 23. viii. 1992 & 7. vii ~ 29. vii. 1993; 茶安別: 1 ex., 20. vii. 1991; 塘路: 1 ex., 27. vii. 1991; 塘路湖畔: 1 ex., 27. vii. 1993; 上茶安別: 4 exs., 25. vii & 5. viii. 1993; シラルトロ川上流: 3 exs., 20. vii ~ 2. viii. 1993; シラルトロ沼畔: 1 ex., 17. vii. 1993; 野上: 1 ex., 7. ix. 1993; 津別町: 16 exs., 3. viii. 1993; 羅白温泉: 1 ex., 12. viii. 1982; 峰浜: 2 exs., 15. viii. 1987  
7月から8月に出現する。2月に採れた個体はヤチハンノキの樹皮下で越冬していた。各地に広く生息し、多い。陸別町、上士幌町 (佐々木、1983)、厚岸町 (飯島、1984)、鶴居村 (飯島、1990)、浜中町 (平間、中谷、1993)、知床半島羅白側 (宮下、1993)、春採湖 (飯島ほか、1989) などの記録がある。

45. *Lanecarus palustris* Lewis  
ニセクチブトコメツキ  
植別川畔: 1 ex., 8. vii. 1990. このほかの記録は見当らない (飯島ほか、1994)。
46. *Ectinus sericeus sericeus* (Candèze)  
カバイロコメツキ  
二ツ山: 1 ex., 20. vi. 1973; 同: 1 ex., 30. vii. 1975; 同: 1 ex., 1. viii. 1982; 同: 1 ex., 23. vii. 1989; 同: 1 ex., 22. vii. 1992; シラルトロ沼畔: 1 ex., 18. vi. 1972; 上久著呂: 1 ex., 23. v. 1991; 塘路湖畔: 1 ex., 30. v. 1985; ベカンペ台: 2 exs., 30. vi. 1973; 多和: 1 ex., 29. vi. 1993; 愛冠岬: 1 ex., 29. vii. 1979; 川湯: 1 ex., 13. vii. 1975; 屈斜路湖畔 (ランコシ): 1 ex., 13. v. 1987; 羅白町: 1 ex., 7. vi. 1977; 岩尾別: 2 exs., 29. v. 1994; [登別温泉: 1 ex., 15. vi. 1994]  
5月から8月に出現する。各地に広く生息する普通種。羅白町 (中根、1963)、上士幌町 (佐々木、1983)、鶴居村 (飯島、1990)、弟子屈町 (菅原、船橋、1955)、浜中町、厚岸町 (飯島、1984) などの記録がある。
47. *Ectinus dahuricus persimilis* (Lewis)  
オオカバイロコメツキ  
二ツ山: 1 ex., 20. vi. 1951; 同: 1 ex., 14. vi. 1953; 同: 2 exs., 10. vi. 1971; 同: 1 ex., 16. vii. 1977; 同: 9 exs., 8. vi ~ 10. vi. 1981; 三ヶ月沼: 1 ex., 3. vii. 1982 (飯島猛美); 雷別86林班: 1 ex., 15. vii. 1975; 同83林班: 1 ex., 11. vii. 1981; 塘路湖畔: 1 ex., 1. viii. 1985; バイロットフォレスト 3林班: 1 ex., 20. vi. 1986; 中茶安別: 1 ex., 26. v. 1990; 上久著呂: 1 ex., 18. vi. 1993; 上茶安別: 1 ex., 22. v. 1993; 野上峠: 1 ex., 7. vi. 1976; 同: 1 ex., 8. vii. 1979 (飯島猛美); 仁伏: 3 exs., 22. vii ~ 22. viii. 1979 (飯島猛美); 春採湖畔: 2 exs., 28. vi ~ 7. viii. 1973; 厚内海岸: 1 ex., 12. vii. 1980; 下舌辛: 2 exs., 5. vi. 1986; 大黒島: 2 exs., 15. vi. 1980 (新妻昭夫); アヤメガ原: 1 ex., 7. vi. 1978; 大別川下流: 1 ex., 24. vi. 1990; トライベツ: 2 exs., 23.

vi. 1980 & 15. vi. 1981; 赤泊: 2 exs., 24. vi. 1990; 火散布: 1 ex., 15. vi. 1979; 川湯: 2 exs., 7. vi. 1986; 岩尾別: 2 exs., 8. vi. 1976 & 14. vi. 1981; 羅臼温泉: 3 exs., 7. vi & 5. vi. 1987; 海別岳 (山ろく): 1 ex., 4. vi. 1978

5月後半から8月に出現する。各地に広く生息していて、本属の種では最も個体数が多い。羅臼町 (中根, 1963)、羅臼岳 (佐々木, 1987、澤村, 1985)、釧路市 (飯島, 1988)、鶴居村 (飯島, 1990)、標茶町 (久万田、飯島, 1992)、阿寒町 (飯島, 1993)、大黒島 (飯島ほか1981)、音別町、厚岸町 (飯島, 1984)、中札内村、陸別町 (佐々木, 1985)、斜里町 (斜里高校, 1981) などの記録がある。

#### 48. *Agriotes ogurae fuscicollis* Miwa

トビイロムナボソコメツキ

斜里町からの記録がある (斜里高校, 1981)。別名オグラカバイロコメツキ。

#### 49. *Ectinus higonius* (Lewis)

クロムナボソコメツキ

塘路湖畔 (リーチャシ): 4 exs., 30. vi. 1985; [登別温泉: 1 ex., 15. vi. 1994]  
道東部ではこのほかの産地は知られていない。

#### 50. *Dalopius ainu* Kishii

エゾナカグロヒメコメツキ

二ツ山: 1 ex., 13. vi. 1982; 同: 1 ex., 6. vi. 1990; 上茶安別: 4 exs., 12. vii. 1992 & 4. vii. 1993; 羅臼温泉: 1 ex., 1. vi. 1987; 植別川: 1 ex., 8. vii. 1990; 若山沼: 1 ex., 26. vi. 1981; 春採湖畔: 1 ex., 26. vi. 1993 (大崎弘泰); 兼金沼: 1 ex., 11. ix. 1993; 岩尾別: 2 exs., 29. v. 1994

6月から9月に出現する。少ない。浜中町 (平間、中谷, 1993)、羅臼町 (宮下, 1993)、羅臼町植別川 (飯島ほか, 1994) などの記録がある。

#### 51. *Dolerosomus gracilis* (Candèze)

キバネホソコメツキ

羅臼町 (中根, 1963) からの記録がある。

#### 52. *Elater sieboldi* (Candèze)

オオナガコメツキ

弟子屈町川湯 (菅原、船橋, 1955) からの記録があるが、同定には疑問が残る。

#### 53. *Elater niponensis* (Lewis)

オオクロナガコメツキ

斜里町岩尾別温泉 (澤村, 1985) からの記録がある。以上3種は再発見を期待する。

#### 54. *Sericus brunneus sachalinensis* (Miwa)

チャイロヒメコメツキ

鶴居村キラコタン崎 (高層湿原): 1 ex., 9. vii. 1973 (須摩靖彦); パラサン沼: 1 ex., 29. vi. 1991

羅臼町 (中根, 1963)、羅臼岳 (佐々木, 1987) などの記録がある。別名チャバナフトコメツキ。

#### 55. *Sericus fugisanus* (Lewis)

クロヒメコメツキ

二ツ山: 2 exs., 24~16. iv. 1971; 雷別: 1 ex., 19. vi. 1973; 阿寒町キナチャウシ川畔: 1 ex., 13. vi. 1991 (平間祐介)

4月に採れた個体は成虫で越冬したものと考えられる。少ない。

### Melanotinae クシコメツキ亜科

#### 56. *Melanotus matsumurai* Schenkling

ハネナガクシコメツキ (Fig.10)

二ツ山: 1 ex., 13. vii. 1953; 同: 1 ♀, 20. vi. 1967; 同: 1 ♀, 30. vii. 1968; 同: 2 exs., 20. v & 20. vi. 1976; 同: 1 ♂, 20. ix. 1979; 同: 1 ♂ 1 ♀, 24. vii. 1982; 同: 2 exs., 14. viii. 1988; 同: 2 exs., 23. vii & 23. viii. 1989; 同: 1 ex., 1. ix. 1991; 五十石: 1 ♂, 15. vi. 1978; サルルントウ: 1 ♂, 4. vii. 1989; キナチャウシ川畔: 1 ♂, 13. vi. 1991 (平間裕介); フレベツ土場: 1 ex., 25. viii. 1991 (平間); 屈斜路 (シケレベンベツ): 1 ♀, 17. vii. 1991 (平間); 硫黄山: 1 ex., 11. viii. 1991 (平間); 砂湯: 3 exs., 25. vii. 1991

5月から9月にかけて出現する。クシコメツキ亜科の中では最優占種。平地から山地に

かけて広く生息している。羅臼町（中根、1963）、上土幌町（佐々木、1983）、浜中町（平間、中谷、1993）などの記録がある。

57. *Melanotus legatus legatus* Candèze

クシコメツキ

羅臼町（西島、1985）からの記録がある。

58. *Melanotus cete* Candèze

アカアシオオクシコメツキ

湯沼: 1 ex., 16. vii. 1991（平間）；フレベツ: 1 ex., 20. vi. 1991（平間）

平地性の種と言われているが、平野部や海岸域からはみつからない。

59. *Melanotus koikei* Kishii & Ôhira

ヒラタクシコメツキ

湯沼: 1 ex., 7. viii. 1991（平間裕介）

平地性の種と言われているが、平野部や海岸域からはみつからない。

**Negastrinae ミズギワコメツキ亜科**

60. *Fleutiauxellus quadrillum* (Candèze)

ヨツモンミズギワコメツキ (Fig.11)

塘路湖畔: 1 ex., 7. viii. 1988; 標茶町旭町: 1 ex., 15. vii. 1992; 多和: 1 ex., 27. vii. 1991; 雷別83林班: 1 ex., 26. ix. 1979; 中オソベツ: 2 exs., 6. viii. 1991; 上久著呂: 11 exs., 16. vii. 1992; 新久著呂: 1 ex., 12. vii. 1993; 川湯: 2 exs., 16. vi. 1988; 羅臼町: 1 ex., 31. vii. 1980; 津別町（ホタルの里）: 2 exs., 3. viii. 1993

6月から8月に出現する。畑地や庭園などに生息している。羅臼町、標茶町、別海町（大平、飯島）などの記録がある。

61. *Fleutiauxellus curatus septentrionalis* Kishii

エゾキアシミズギワコメツキ (Fig.12)

二ツ山: 2 exs., 20. ix & 3. vii. 1993; 五十石林道: 5 exs., 21. viii. 1992 & 19. viii. 1991; 同: 2 exs., 7. vii. 1993; タッコフ: 2 exs., 22. vi. 1992; 新久著呂: 2 exs., 12. vii & 7. viii. 1993; 植別川: 2 ex., 14 ~ 8. vii. 1990

6月から8月に出現する。主に砂礫地に生息しているが、樹葉上でも生活している。エゾバコヤナギをスリーブして確認した。羅

臼町（中根、1963）、上土幌町（芳賀、1963）、標茶町、羅臼町（大平、飯島、1991）などの記録がある。

62. *Fleutiauxellus ishidai* (Kishii)

インダミズギワコメツキ (Fig.13)

植別川: 2 exs., 4 ~ 8. vii. 1990; シェンクシタカラ川畔: 3 exs., 25. vi. 1992; 新久著呂: 1 ex., 12. vii. 1993; 五十石林道: 1 ex., 7. vii. 1993  
知床五湖、羅臼岳（大平、保田、1992）、阿寒町（飯島、1993）、羅臼町（大平、飯島、1991）などの記録がある。

63. *Fleutiauxellus yezoensis* (Ôhira)

エゾクロットヤマズギワコメツキ

春採湖畔: 1 ♀, 1989（銅路湖陵高校）、このほかの記録は見当らない。

64. *Negastrius aino* Kishii

エゾチビミズギワコメツキ

二ツ山: 1 ex., 10. vi. 1969; 同: 1 ex., 3. x. 1971; ベカンベ台: 1 ex., 25. v. 1988（大平所蔵）。5月から10月にかけて出現するが少ない。羅臼町（中根、1963）の記録がある。

65. *Oedostethus telluris* (Lewis)

クロットヤマズギワコメツキ

中札内村、上土幌町幌加（佐々木、1985）からの記録がある。

66. *Oedostethus difficilis* (Lewis)

ウスチャミズギワコメツキ (Fig.14)

二ツ山: 1 ex., 14. viii. 1969; 同: 2 exs., 10. vii. 1979; 同: 2 exs., 15. ix & 21. vii. 1980; 同: 1 ex., 23. vii. 1987; 同: 2 exs., 20 ~ 16. viii. 1988; 同: 1 ex., 27. vii. 1993; 雷別: 1 ex., 28. vi. 1972; 同85林班: 1 ex., 15. vii. 1986; 五十石林道: 6 exs., 7. vii. 1993; 中オソベツ: 3 exs., 24 ~ 23. viii. 1992; 同: 8 exs., 10. vii & 7. viii. 1993; 上茶安別: 1 ex., 12. vii. 1992; 同: 3 exs., 5. viii ~ 23. vii. 1993; 下茶安別: 1 ex., 27. vii. 1993; コッタロ: 1 ex., 16. vii. 1963; 厚生: 1 ex., 29. vii. 1993; トライベツ: 1 ex., 20. vi. 1988; 大田3林班: 1 ex., 11. vii. 1976; 下雪裡 ~ 宮島: 1 ex., 8. vii. 1973; チルワツナイ: 1 ex., 3. vii. 1989; バラサン沼: 3 exs.,

26. vi. 1991; 川湯: 1 ex., 13. vii. 1975; 摩周岳: 1 ex., 13. vii. 1975; 硫黄山: 2 ♀, vi. 1991 (平間); 仁伏: 1 ex., 19. vii. 1981 (飯島猛美); フレベツ: 1 ex., 20. vi. 1991 (平間); 北新町: 1 ex., 21. vii. 1989; 雌阿寒岳: 1 ex., 27. vii. 1992; 羅臼温泉: 1 ex., 29. vii. 1982

6月から9月にかけて出現する。各地に広く生息し個体数も多く、地表や樹葉や草木間にも生活している。ミズギワコメツキ亜科の中での最優占種である。釧路市(飯島、1988)、阿寒町(飯島、1993)、上士幌町(佐々木、1987)などの記録がある。

#### Cardiophorinae ハナコメツキ亜科

##### 67. *Platynychus nothus* (Candèze)

オオハナコメツキ

ニツ山: 1 ex., 13. vii. 1953; 同: 2 exs., 21. vii. 1980; 同: 2 exs., 2. vii. 1992; 真鯉: 1 ex., 30. vii. 1982

7月に出現する。少ない。中札内村(佐々木、1985)からの記録がある。

##### 68. *Cardiophorus pinguis* Lewis

クロハナコメツキ

羅臼町(西島、1985)、上士幌町(芳賀、1993)からの記録がある。

##### 69. *Paracardiophorus opacus* Lewis

ククロハナコメツキ

知床半島(宮下、1933)からの記録がある。

##### 70. *Paracardiophorus pullatus* (Candèze)

コハナコメツキ

上士幌町三股(佐々木、1983)からの記録がある。

##### 71. *Paracardiophorus subaeneus yasudai* Ôhira

エゾコハナコメツキ

五十石林道: 1 ex., 7. vii. 1993; タッコブ: 1 ex., 22. vi. 1992; チルワツナイ: 1 ex., 6. viii. 1989; 阿寒湖畔: 1 ex., 8. ix. 1991; 飽別川: 2 exs., 5. ix. 1990; シケレベンベツ: 1 ex., 17. vii. 1991 (平間); ポンボン山: 2 exs., 30. vi. 1991 (平間); 野上峠: 1 ex., 17. viii. 1975; 岩尾別: 1 ex., 29. v. 1994

6月から9月にかけて出現する。少ない。

## 標本の採集地名

### 釧路支庁管内

釧路市: 春採湖

釧路町: タッコブ

標茶町: ニツ山、シラルトロ沼、シラルトロ川、塘路、塘路湖、雷別、五十石、厚生、中オソベツ、茶安別、上茶安別、中茶安別、下茶安別、上久著呂、新久著呂、多和、北片無去、サルレントウ、西別岳、ベカンベ台、パイロットフォレスト、常盤、三ヵ月沼

弟子屈町: 川湯、屈斜路湖、摩周岳、硫黄山、砂湯、仁伏、湯沼、ボンボン山、シケレベンベツ、美幌峠、フレベツ

鶴居村: 宮崎島、キラコタン崎、チルワツナイ、グリーンパーク、下雪裡

阿寒町: 阿寒湖、ボッケ、ひょうたん沼、飽別川、シュンクシタカラ湖、シュンクシタカラ川、北新町、キナチャウシ川、下舌辛、仁々志別

厚岸町: 大黒島、大別川、アヤマガ原、トライベツ、大田、愛冠岬

浜中町: 火散布、恵茶人、赤泊

白糠町: 庶路

十勝支庁管内

浦幌町: 厚内、中札内村: 中札内、上士幌町: 幌加、三股、糠平

根室支庁管内

羅臼町: 羅臼岳、羅臼温泉、合泊、泊場、植別川

別海町: 兼金沼、バラサン沼

網走支庁管内

斜里町: 斜里岳、海別岳、岩尾別、知床五湖、真鯉、峰浜

小清水町: 野上、野上峠

津別町: ホタルの里

## あとがき

本文ではサビキコリ亜科4種、ヒサゴメツキ亜科4種、ベニコメツキ亜科22種、コメツキ亜科25種、クシコメツキ亜科4種、ミズギワコメツキ亜科7種、ハナコメツキ亜科5種、計71種を記録した。この内21種は引用で、残りの50種についてはデータを示し、それらの標本はすべて釧路市立博物館へ所蔵する。

## 引用文献

- 菅原富士郎、船橋欣弥 1955: 屈斜路湖畔の原始林と甲虫類, 旭川西高等学校, 27-30
- 中根猛彦 1963: 北海道知床半島からの甲虫リスト, 京都府立大学学術報告, 3 (5), 237-245
- 久万田敏夫 1967: 知床半島の昆虫類, 知床半島, 12-18
- 青山慎一 1979: 釧路湿原における昆虫類の生態学研究 I. *Jezoensis*, 6, 97-108
- 飯島一雄、須摩靖彦、大西純 1981: 大黒島の昆虫, 大黒島及び周辺の科学調査報告書, 11-14
- 佐々木恵一 1983: 北海道におけるコメツキムシ科の採集記録 (第1報) *Jezoensis*, 10, 15-22
- 佐々木恵一 1985: 北海道におけるコメツキムシ科の採集記録 (第2報) *Jezoensis*, 12, 98-103
- 佐々木恵一 1987: 北海道におけるコメツキムシ科の採集記録 (第3報) *Jezoensis*, 14, 97-99
- 飯島一雄 1984: 道東海岸線の昆虫, 道東海岸線総合調査報告書, 87-126
- 澤村京一 1985: 羅白岳、斜里岳の動植物 (v. 甲虫類), 早稲田生物, 28, 51-58
- 西島浩、保田信紀、岩佐光啓 1985: 遠音別岳原生自然環境保全地域における糖蜜トラップで採集された甲虫類, 遠音別岳原生自然環境保全地域調査報告書, 431-443
- 飯島一雄 1988: 昆虫部門, 春採湖及び周辺の環境保全基礎調査報告書, 100-116
- 飯島一雄 1990: 昆虫類, 広域基幹林道「宮島線」環境影響調査報告書, 25-95
- 大平仁夫、飯島一雄 1991: 北海道標茶町とその周辺に分布する4種のコメツキムシ科, 釧路博物館館報, 331, 56-58
- 久万田敏夫、飯島一雄、飯島猛夫 1992: 昆虫類, 「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書
- 大平仁夫、保田信紀 1992: 層雲峡とその周辺のコメツキ (6), 層雲峡博物館研究報告, 12, 15-20
- 飯島一雄 1993: 阿寒川水系の昆虫, 阿寒川水系総合調査報告書, 69-90
- 平間裕介、中谷正彦 1993: 韃撻目, 霧多布湿原の昆虫, 35-38, 124-125
- 芳賀馨 1993: 上士幌町上士幌駅跡土場で採集された甲虫, 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, 15, 1-39
- 宮下公範 1993: 知床半島の甲虫, *Antena*, 1, 24-25
- 斜里高等学校 1981: 地表面性甲虫の研究 (その4), 知床博物館研究報告, 3, 35-44
- 大平仁夫 1989: オオアカコメツキとその近似種について, 越砂昆虫同

好会々報, 67. 3-17

飯島一雄、飯島猛秀、久万田敏夫 1994: 根室半島地区、昆虫類. 「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書, 126-136: 277-289

飯島一雄、武山佳洋、柳敏 1989: 春採湖畔未記録の蛾と甲虫類. *Sylvicola*, 7: 20-22

本稿提出後、前田一歩園から「阿寒国立公園の自然 1993」が出版され、サビキコリ(阿寒湖畔)、ニホンカネコメツキ(硫黄山)、ルリツヤハダコメツキ(フレベツ)、キバナツヤハダコメツキ(オンネトー)、ドウガネヒラタコメツキ(オンネトー、屈斜路湖畔)、コガネコメツキ(硫黄山)、ダイミョウコメツキ(屈斜路湖畔)、アカハラクロコメツキ(阿寒湖畔)、カバイロコメツキ(硫黄山、湯沼)、オオカバイロコメツキ(オンネトー、湯沼、屈斜路湖畔、ヒョウタン沼)、エヅナカグロヒメコメツキ(硫黄山)、チャイロヒメコメツキ(摩周岳)、クロクシコメツキ(湯沼)、オオハナコメツキ(硫黄山)、エゾフトヒラタコメツキ(阿寒湖畔、摩周岳)の15種が報告されているが、次の2種は本稿に含まれていない。

*Gambrinus niponensis* (Lewis)

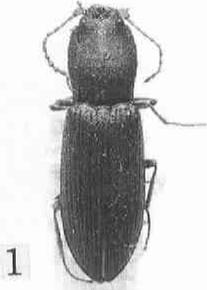
ニホンカネコメツキ(ベニコメツキ亜科)

*Melanotus senilis* Candèze

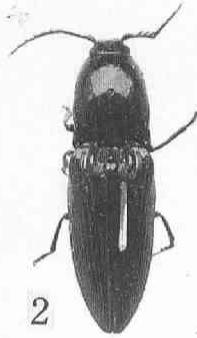
クロクシコメツキ(クシコメツキ亜科)



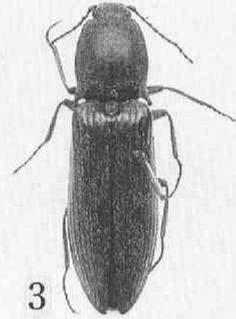
北海道東部市町村界図



1



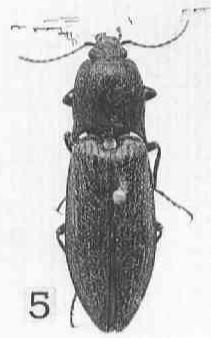
2



3



4



5

Fig.1. *Ascoliocerus saxatilis expansicornis*  
エゾクロヒラタコメツキ

Fig.2. *Hemicrepidius subcyaneus*  
ルリツヤハダコメツキ

Fig.3. *Acteniceromorphus selectus*  
エゾフトヒラタコメツキ

Fig.4. *Selatosomus puncticollis*  
コガネコメツキ

Fig.5. *Selatosomus impressus*  
ミヤマコガネヒラタコメツキ



6



7



8

Fig.6. *Anostirus daimio*  
ダイミョウコメツキ

Fig.7. *Ampedus niponicus*  
ツマグロコメツキ

Fig.8. *Ampedus ainu ainu*  
アイヌアカコメツキ

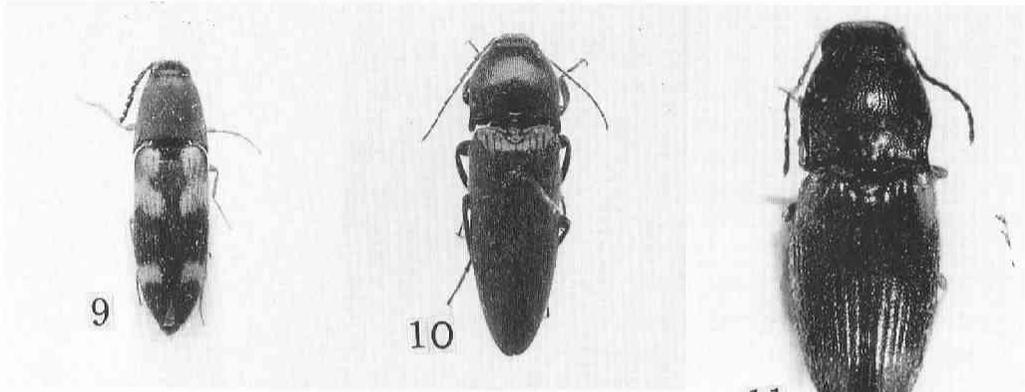
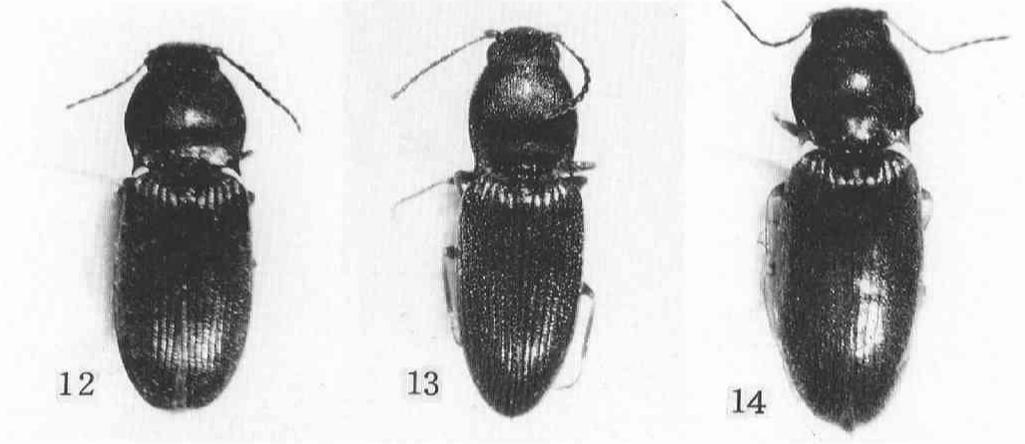


Fig.9. *Gamepenthès versipellis*  
メスアカキマダラコメツキ

Fig.10. *Melanotus matsumurai*  
ハネナガクシコメツキ

11  
Fig.11. *Fleutiauxellus quadrillum*  
ヨツモンミズギワコメツキ



12  
Fig.12. *Fleutiauxellus curatus septentrionalis*  
エゾキアシミズギワコメツキ

13  
Fig.13. *Fleutiauxellus ishidai*  
イシダミズギワコメツキ

14  
Fig.14. *Oedostethus difficilis*  
ウスチャミズギワコメツキ